

三中 若鷺つうしん

令和 5年 3月 3日
天童市立第三中学校
校長 佐藤 亨
☎654-2333 NO,10

輝く瞳で「生きる」を学ぶ！

「1月は往く、2月は逃げる、3月は去る」…瞬く間に過ぎる3学期の日々…その中にあって、三中生は深く「生きる」を学ぶ機会が数多くありました。

【1年生】

1月27日（金）保健師のわだゆきこ先生をお招きし、「命の学習」を開催しました。講座の後、わだ先生から「中学1年生がここまで深く考え、語ることに驚きました。13歳が堂々と“愛”を語り、仲間もそれを真剣に受け止める姿に感動…すばらしい子どもたちです。」と感想をいただきました。



2月20日（月）天童青年会議所（理事長；佐野峻也様）のご協力を得て、不動産、運輸、飲食保険、卸売等々、天童市内で様々なお仕事に従事されている10名の講師の皆様に来校いただき、少人数グループによる職業講話を開催しました。

講師の先生方から右の感想をいただきました。

講師の先生方の感想（抜粋）

- ・仕事の内容などいろいろと調べて質問を用意してくれたのがわかりました。
- ・用意した以外の質問もしてくれていて、話をよく聞いてくれているのがわかりました。
- ・するどい質問ばかりで、世の中の仕組みや成り立ちを学ぶ大切さを感じました。
- ・司会から進行、案内まですばらしかったです。

【2年生】

2学年全体で取り組んだ「クエスト・エデュケーション」。企業からの「正解のない課題」に対し自分たちの企画を練り上げてプレゼンテーションで発表する…その全国大会（参加は全国の中学校・高等学校 320校、約6万1千人）に、我が三中2年生から下の2チームが出場しました。



全国大会 1st ステージではチーム「YAHOO ワールド」は全国 275 チーム中の最高賞で

インターン企業	チーム名	メンバー
ヤフー	YAHOO ワールド	須藤魁斗, 小林慶乃, 佐藤斗夢, 大門弘夢
テレビ東京	FYTV	長坂美麗, 齋藤康暉, 清野准希, 福田悠太

ある企業賞を受賞、チーム「FYTV」は 288 チーム中第2位となる準企業賞に輝きました。

さらに進んだ全国大会 2nd ステージで、チーム「FYTV」は全国2位となる準グランプリを受賞する快挙を成し遂げました。審査員の合田哲雄文化庁次長から「驚くべき革命的な発想だ。」と絶賛されました。



【3年生】

2月13日（月）～24日（金）、私立高等学校への進学を決定した生徒に対して、それぞれの高等学校の先生にご来校いただき、4月からの高校生活に向けて、高校生活の詳細や今やっておくべきことなどについてお聞きする「進路講話」を開催しました。

表情も引き締まり、希望とともに決意が感じられました。



多彩な才能の開花！…豊かな挑戦を皆で称え合う

三中生は学校内での活躍にとどまらず、様々な分野でその無限の可能性を伸ばすべく奮闘しています。例えば、スキー競技で全国大会まで挑戦の枠を広げたり、珠算能力検定試験で最高位1級に満点で合格したり、その他、公式野球・ダンス…e. t. c.

まさに“多彩”です。

三中は、一人一人の異なる特性を尊重し、互いに応援し称え合う気風を大切に、果敢に挑戦する前向きな気持ちを皆で支えたいと考えています。



学年掲示板には仲間の頑張りを称え喜びを分かち合う掲示物があります

表彰の記録

◎日本商工会議所主催珠算能力検定試験
1級合格 (300点満点) 奥山博翔

◎クエストカップ2023全国大会
1stステージ (2/18)
YAHOO ワールド 企業賞
FYTV 準企業賞
2ndステージ (2/25)
FYTV 準グランプリ (全国2位)



話さずにいられない…

ちょっといい話



朝方から降った雪が積もったため昇降口前の雪かきをしながら、子どもたちに「おはよう」と声をかけていた時です。登校してきた3年生が黙ってスコップを手にとり手伝ってくれました。この日は3学期末テストです。私は「いいよ、風邪ひかないように…」と言いましたが「大丈夫です」と後から登校してくる仲間や後輩たちのために黙々と雪を片付けてくれました。

その他、玄関マットをさりげなく直してくれる3年生、「おはよう」に続いて「ありがとうございます」と言ってくれる2年生…三中は、朝の登校風景だけでも枚挙に暇がないほどに数多くの「心温まる生徒の姿」に出会えます。強烈な寒波が訪れる中でも、温かい心と勇気ある行動力を持った生徒たちの姿に触れる幸せを毎朝感じています。

高掬小学校の先生から嬉しい話を聞きました。ある日、三中生（高掬小の卒業生）が「通学路に落ちていました」と図書袋を小学校まで届けてくれたそうです。おかげで図書袋は無事に持ち主の手に戻りました。高掬小学校の先生は「卒業した後も後輩のことを気にかけてくれる」と満面の笑顔で語ってくれました。

この行動に象徴されるように、三中生はそれぞれの地区と小学校に強い愛着と卒業生としての誇りを持っています。これこそ三中の学校教育目標に謳う「社会を担う力」の基盤だと考えます。三中生にとって当たり前であり意識していないことかもしれませんが、三中生は極めて大切な力を確実に身につけています。